

第5期福岡市男女共同参画審議会  
男女平等教育・地域支援部会

<審議項目>

1	男女平等教育の推進
2	地域における男女共同参画推進活動の支援

<所属委員>

( 五十音順 敬称略 )

	氏 名	役 職 等
1	石川 孝治	福岡市自治協議会等7区会長会代表
2	久池井 啓江	公募委員
3	久保川 保治	福岡市立中学校校長会代表 (原中学校校長)
4	櫻井 千恵美	福岡市七区男女共同参画協議会会長
5	日高 政治	福岡市PTA協議会会長
6	藤井 千佐子	福岡大学経済学部非常勤講師 元 西日本新聞社執行役員企画局長

# 重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	男女平等教育の推進						
	2 基本目標	1 男女平等意識が浸透した社会を目指します。						
	3 施策の実施状況	<p>子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう、中学生向け出前セミナーを実施するなど、学校教育における男女平等教育を推進するとともに、あらゆる教育関係者を対象に男女共同参画の意識啓発のための研修を実施した。</p> <p>○小・中学生向け男女平等教育副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生向け: はらっぱ 発行部数: 15,000部 活用率: 96.6% &lt; 93.8% &gt;</li> <li>・中学生向け: わたしらしく生きる 発行部数: 14,000部 活用率: 39.1% &lt; 33.8% &gt;</li> </ul> <p>○男女混合名簿の採用</p> <p>採用率 小学校: 99.3% &lt; 98.6% &gt; 中学校: 56.5% &lt; 44.9% &gt;</p> <p>○中学校における職場体験学習の実施</p> <p>参加学校数及び生徒数: 69校(100%) 11,820人 &lt; 11,913人 &gt;</p> <p>受け入れ事業所数: 3,388事業所 &lt; 3,616事業所 &gt;</p> <p>○大学・企業・地域・市の連携による中学生向け出前セミナーの実施 実施校数: 19校 &lt; 15校 &gt;</p> <p>○教職員への男女平等教育研修の実施 参加者数: 226人 &lt; 225人 &gt;</p> <p>講演「男女共同参画は日本の希望」 講師: 山田昌弘(中央大学文学部教授)</p> <p>実践発表「わたしらしく生きる」の活用について 発表: 神谷美保(柏原中学校教諭)</p> <p>○教頭2年次研修の実施 参加者数: 33人 &lt; 30人 &gt;</p> <p>○公民館、区役所職員への研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新任公民館職員研修 実施回数及び参加者数: 1回32人 &lt; 1回45人 &gt;</li> <li>・公民館運営研修 東区・博多区各1回、計99人 &lt; 東区・博多区・中央区各1回、計128人 &gt;</li> <li>・区男女共同参画推進担当職員研修 参加者数: 8人 &lt; 10人 &gt;</li> </ul> <p>「地域における男女共同参画社会の推進について」 講師: 武藤桐子(NPO法人福岡ジェンダー研究所)</p>						
	4 数値目標、参考指標	(指標) 男女平等教育副読本活用率: 小学校向け「はらっぱ」						
		初期値	目標値	実績				
		91.8% (平成22年度)	100.0% (平成27年度)	95.1% (平成23年度)	93.8% (平成24年度)	96.6% (平成25年度)	- (平成26年度)	- (平成27年度)
		(指標) 男女平等教育副読本活用率: 中学校向け「わたしらしく生きる」						
		初期値	目標値	実績				
		43.5% (平成22年度)	50.0% (平成27年度)	32.8% (平成23年度)	33.8% (平成24年度)	39.1% (平成25年度)	- (平成26年度)	- (平成27年度)
	5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性			
6 判定	B			充実				
7 判定理由・根拠	<p>○中学校における副読本の活用や混合名簿の採用について、活用率・採用率ともに前年度より増えているものの依然として低い状況にある。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを平成25年度から3年間で市内全69校で実施することを目指し、19校に拡大して実施した。また、受講した中学生の約80%が、男女共同参画について「よくわかった・まあわかった」と回答しており、若年層への性別にとらわれないキャリア形成への意識啓発に一定の成果を上げている。</p> <p>○公民館職員や教職員を対象に研修を実施し、地域や学校教育における男女共同参画推進に努めた。</p>							
8 懸案事項・課題	<p>○中学校における副読本の活用や混合名簿の採用について、教育現場の実態を把握・分析したうえで、活用及び採用の向上に取り組む必要がある。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを平成25年度から3年間で市内全69校で実施するためには、26・27年度の実施校を拡大する必要がある。</p> <p>○教職員や公民館・区役所職員への研修を一層充実させる必要がある。</p>							
9 今後の取組	<p>○男女平等教育研修会において副読本の活用事例等を提示し、教職員への周知や理解を図るとともに、校長・園長連絡会等において、混合名簿の採用を進めるよう指導していく。</p> <p>○中学生用副読本について、近年の社会情勢を反映した内容への見直しを検討する。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを引き続き実施するとともに、教職員や公民館・区役所職員への研修の充実に努める。</p>							

評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
II 審議会記入欄	<b>【審議会意見】</b>	

# 重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	地域における男女共同参画推進活動の支援																											
	2 基本目標	6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します																											
	3 施策の実施状況	<p>福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」が広く市民に浸透し、各校区において男女共同参画推進の取組みが実施されるよう支援するとともに、「モデル校区地域リーダー育成塾」を新規事業としてモデル校区2校区で実施するなど、地域における男女共同参画推進に取り組んだ。</p> <p>○地域における主体的取組への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなで参画ウィーク(福岡市男女共同参画週間)」にあわせた校区取組みへの支援 コーディネーターの派遣 12校区&lt;7校区&gt;</li> <li>・週間やシンボルマークを活用した広報・啓発</li> </ul> <p>○モデル校区地域リーダー育成塾の実施(新規事業)</p> <p>モデル校区(東区若宮校区、城南区堤地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーの派遣(男女共同参画推進サポーター 各校区2名)</li> <li>・報告会の開催 参加者数 163人 内容：第1部 モデル校区活動報告(2校区) 第2部 講演「女性の力は地域の活力」 講師：瀬地山 角(東京大学大学院総合文化研究科教授)</li> </ul> <p>○七区男女共同参画協議会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七区男女共同参画協議会代表者会の開催 4回&lt;4回&gt;</li> <li>・各校区の男女共同参画研修会実施調査</li> </ul> <p>○男女共同参画出前講座の実施 32件 1,131人&lt;16件 469人&gt;</p>																											
	4 数値目標、参考指標	<p>(指標) 「みんなで参画ウィーク」の取組みを実施した校区数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>初期値</th> <th>目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23校区</td> <td>146校区</td> <td>23校区</td> <td>120校区</td> <td>138校区</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table>							初期値	目標値	実績					23校区	146校区	23校区	120校区	138校区	-	-	(平成23年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)
	初期値	目標値	実績																										
	23校区	146校区	23校区	120校区	138校区	-	-																						
	(平成23年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																						
	5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性																								
	6 判定	B			充実																								
	7 判定理由・根拠	<p>○みんなで参画ウィークの広報・啓発に努めるとともに、コーディネーター派遣等、校区取組みへの支援を実施し、138校区で主体的な取組みが実施された。</p> <p>○新たに、モデル校区における地域の女性リーダー育成の取組みをスタートし、報告会を開催するなど、女性リーダー育成に一定の成果は上がっている一方で、地域の諸団体の長等への女性の参画は十分とは言えない。</p>																											
8 懸案事項・課題	<p>○「みんなで参画ウィーク」の取組みが、自治協議会等を中心とする校区全体の取組みとして、全校区で実施されるよう、地域への支援を充実させる必要がある。</p> <p>○地域における男女共同参画推進は校区の主体的な取組みにより実施されており、校区の実情や課題に応じた女性リーダー育成に取り組む必要がある。</p>																												
9 今後の取組	<p>○「みんなで参画ウィーク」が地域に定着するよう広報・啓発に努めるとともに、地域における男女共同参画推進の取組みが、全市的に広がりを持って展開されるよう、七区男女共同参画協議会と連携し、コーディネーターの派遣等、地域の主体的な男女共同参画推進活動を支援する。</p> <p>○校区の実情や課題に応じた実践的な取組みの実施や、研修等への参加など、モデル校区の取組みにより地域の女性リーダーを育成する。</p>																												

	評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
Ⅱ 審議会記入欄	【審議会意見】		